

特集

基礎看護学を再構成する・1
看護の「基礎」とは何か？

看護の「基礎」って何だろう？——ゆるがない「基礎」をつくるために 川島みどり

基礎看護学は誰が何を教授するのか？ 川口孝泰

基礎看護技術以外の「基礎看護」とは？ 佐居由美

「基礎看護学」という学問は成立するのか？ 櫻井利江

在宅看護は基礎？ それとも統合？ 本田彰子

【新連載】

我らカルガモ！ 育児学生日記・1 須崎美穂

現代の学生に合わせた看護学導入プログラムの開発・1 菱沼典子, 大橋久美子

看護はやっぱり面白い!? アラフォー女子大生の「看護」探求の日々・1 片山紀子

【連載】

「交流」を通して教育力を高める——広島県専任教員継続研修の試み・3 波多野文子ほか

「書く力」でステキな看護師をつくらう・10 三原祥子

実習の経験知 育ちの支援で師は育つ・17 新納美美

Mail From USA ——『JNE』を読み、世界の看護教育の流れを知る・45 神谷英美子

編集後記

◎編集室ツイッター <http://twitter.com/KANGOKYOIKU>

●自民党時代の2007年から続く看護師の特定能力認証制度の議論も、それぞれの立場の思惑や思いがあり、ひとつの方向になかなかまとまりません。今特集では、これまでの経緯を整理し、実際に特定能力養成調査試行事業で学ぶ学生の皆さんがどんなことを考えているのかを取材してきました。●来る2025年、今の学生が現場の第一線に立っている頃、医療者の数も圧倒的に不足することが予測されます。これまで看護が培ってきたことを礎に、看護の可能性について考えていければと思います。●看護が抱える問題は山積しています。それらを抱えながらも歩を進めていくには、やはり一人ひとりが主体的に考えていくことが不可欠。将来、看護師がさまざまな場面で活躍していることを想像しながら、議論の行方を見守りたいと思います。……早田

●年末号ということで、いくつかの連載が最終回を迎えました。2年間巻頭を飾ってきた「学生の目 教員のまなざし」では、今まであまり登場したことがない学校の写真も多く取り上げさせていただきました。採用検討しながら、どれも載せてあげたいと思えるような、学ぶ学生さんやそれを見つめる先生方の姿に魅せられてきました。●1年半に亘った『ナイチンゲール伝』は、一般的にはあまり知られていないナイチンゲールの多くの側面を見せてくれました。「天使」と呼ばれた彼女も、「悪魔」的な強面があったからこそ、さまざまな偉業を成し遂げられたのだと改めて感じ入りました。いたずらに神格化することなく、善悪併せもつ「人間」としてのナイチンゲールを、学生さんたちにも知ってもらえればと願っています。●来年および来年度からの新連載にも、どうぞご期待ください。……大野

看護教育 第53巻 第12号 2012年12月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2012, Printed in Japan

1部定価 1,470円(本体1,400円+税5%) 2012年・年間購読料(増大号を含む12冊)

冊子のみ 16,250円, 冊子+電子版(個人) 19,250円, 冊子+電子版(共有) 21,700円, 電子版/個人 16,250円,

電子版/共有 18,800円(いずれも税込, 送料弊社負担)

発行: 株式会社医学書院 代表者: 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 販売部 TEL: 03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL: 03-3817-5776 メールアドレス: kankyuu@igaku-shoin.co.jp 担当: 加藤・大野・早田

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY (社)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつと事前に, (株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/12/¥250/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは, 1論文1回複写につき250円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には, 筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

Vol.53 No.11

2012年11月
特集

「複数受け持ち」実習をより効果的に

「臨床現場により近い環境での実習を」と設けられた統合実習。そのなかで、夜間実習、管理実習と並んで取り組まれている複数受け持ち実習は、統合実習がカリキュラム化される前から、さまざまな工夫をもって取り組む学校が少なくありませんでした。しかし、夜間や管理に比較するとやりやすい実習ですが、効果を上げるには工夫が必要です。

今回は、複数受け持ち実習に関して、より興味深く、効果的な取り組みを行っている学校にその準備や経過、結果などを報告していただき、他校での一層の工夫の参考となることを期待した内容になっています。

複数受け持ち実習をより円滑に運ぶためには、今まで以上に臨床現場との綿密な連携が必要です。その連携は領域別実習にも反映されることでしょう。

- いち早く「複数受け持ち」実習に取り組んできた成果と課題……………片倉貴子
- 本校の複数受け持ち実習における教員の工夫……………鳥海朱美・廣崎道代
- ポートフォリオを活用した統合実習
看護チームの一員としての複数受け持ち実習を目指して……………杉浦暁代・新美綾子
- 受け持ち患者を増やしていく実習
総合実習「チームチャレンジ」の実際
……佐居由美・松谷美和子・大久保暢子・伊東美奈子・中村綾子・堀成美・大橋久美子・蜂ヶ崎令子・倉岡有美子・岩崎寿賀子・田中万里子
- パートナースhip・ナーシング・システムをふまえた「複数受け持ち」実習……………酒井明子



Vol.53 No.10

2012年10月
特集

コミュニケーション力を育む 実習前に教員としてできること

普段の教室とは違う生きた臨床現場で行う臨地実習は、学生が講義や演習で学んできた「知識・技術」を「実践」へとつなぐための大変貴重な機会です。しかし、実習を経験した学生からは「患者さんの思いをくみとることができない」「どのような言葉をかけたらいいかわからない」などといった声が多く聞かれ、看護の知識・技術以前の問題に思い悩んでいる様子が見えます。また、もちろんこのコミュニケーション自体も学生が学ぶべき大切な看護実践であることは言うまでもありません。

では、学生が戸惑うことなく各領域の実習を開始し、知識・技術の統合とさらなるコミュニケーション力の向上を実現するために、日々の学校生活のなかで教員はどのように働きかければよいのでしょうか。本特集では、学生にとって一大イベントである臨地実習から、その先の看護実践までを見据えて、日頃から学校で行えるさまざまなコミュニケーション教育の方法をご紹介します。

- 学生がコミュニケーション能力を育成できる環境をつくる……………菱沼典子
- ロールプレイングを用いたコミュニケーション教育……………川野雅資・石川純子
- 小児看護学実習前のコミュニケーション力トレーニングと授業展開——学生の受け留める力・伝える力・チーム力の育成……………山元恵子・若瀬淳子・高橋 亮
- 当事者の話をよくよく聞く——被災地支援と看護相談での学生の学び……………山田雅子
- 専門看護師に聞く——領域ごとに求められるコミュニケーション力
精神看護……………河野佐代子／母性看護……………長坂桂子／老年看護……………藤田冬子／小児看護……………本多有利子



【2012年9月号 (Vol.53 No.9)】

学問としての
在宅看護論の確立へ

【2012年6月号 (Vol.53 No.6)】

地域看護学と公衆衛生看護学 Part2

保健師学生が学ぶ公衆衛生看護学再考

【2012年8月号 (Vol.53 No.8)】

教務主任養成講習会での
学びを活かす

【2012年5月号 (Vol.53 No.5)】

地域看護学と公衆衛生看護学 Part1

看護学生が学ぶ地域看護学再考

【2012年7月号 (Vol.53 No.7)】

学校をアピールする！
学生確保のためにできること

【2012年4月号 (Vol.53 No.4)】

平成23年度教務主任養成
講習会を振り返る

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2010年10月号(Vol. 51, No.10)以前の号は、東亜ブック(TEL.03-3985-4701, FAX 03-3985-4703, <http://www.taobook.com/>)
- 2010年11月号(Vol. 51, No.11)以降の号は、医学書院販売部(TEL.03-3817-5659)にお願いします。

■特集

看護教育の現場にプレゼンテーション力を活かす！(1号)

【座談会】看護師の経験が高める教員のプレゼンテーション力：齊藤裕之／諸橋由美子／林田昌子／雑賀美智子，1，6
講義で活かすプレゼンテーション：百瀬栄美子，1，12
臨地実習で活かすプレゼンテーション：飛鳥井まどか，1，19
研究発表で活かすプレゼンテーション：米澤洋美，1，26
模擬授業を通して学ぶプレゼンテーション：〈演者〉朝倉真弓，〈コーディネーター〉齊藤裕之，1，33

私はこうして学生と向き合ってきた——日々出会うさまざまな悩み(2号)

学内講義における教育・学習編

講義で想像を絶する学生の理解状況に遭遇したとき：高島尚美，2，90

学生がほとんど経験したことのない，しかし重要なこと（倫理観）を講義で教授したいとき：高島尚美，2，92

臨地実習における教育・学習編

学生が子どもとの関わりに悩むとき：永田真弓，2，95
専門学校1年生が患者とのコミュニケーションに戸惑うとき：荒谷美香，2，97

コミュニケーションの意味を理解させ スキルを身につけさせること：瀬田留加，2，100

複数のスタッフからの指導に学生が混乱してしまうとき：青木由美恵，2，102

学生が心理的に余裕をもてる環境を整えること：千田 操，2，104

学生の態度・志向性編

“ミレニアル世代”の学生を指導すること：村田洋章，2，107

学生の態度・社会性に課題があるとき：永田真弓，2，109

学生の研究がうまく進まないとき：村井文江，2，112

決定と責任を自ら考えるようにすること：樋之津淳子，2，114

【特集1】災害看護教育に生きたシミュレーションを——震災に焦点をあてて(3号)

災害看護教育におけるシミュレーションの役割：山田百合子，3，168

災害シミュレーション演習——赤十字看護専門学校の取り組み：横田栄子，3，174

災害時救助・救護活動のための机上シミュレーション：長家智子，3，180

被災体験シミュレーション——地域に根差した防災の担い手「防'z」の取り組み：上田真仁／梅田見名子，3，186

【特集2】石巻赤十字看護専門学校の復興に向けて(3号)

被災後の学校運営と今後の課題：工藤三枝子，3，196

石巻赤十字看護専門学校復興支援要員派遣の実際と課題：池田由美子／西田朋子，3，202

【コラム】復興支援要員としての石巻での活動：藤田美佐子，3，208

【コラム】石巻で臨地実習支援にあたって：池本義子，3，209

平成23年度教務主任養成講習会を振り返る(4号)

【座談会】教務主任養成講習会を受講する意義と評価——福岡県教務主任養成講習会の成果をふまえて：島田千恵子／鎌田久美子／黒田喜美子／江川万千代／荒川直子／西村由紀子，4，260

平成23年度教務主任養成講習会の意義——看護学教育課程開発に焦点をあてて：西村由紀子，4，268

平成23年度教務主任養成講習会の意義——看護学教育課程開発演習の実際「へこたれない看護師を育成するケアリングカリキュラム」：前川礼子／石松賀世子／長田晶子／出口由美／馬崎雅子／山内美千代，4，275

平成23年度教務主任養成講習会の意義——看護学教育開発演習に焦点をあてて：大池美也子，4，283

平成23年度教務主任養成講習会の意義——修了後の受講生の思いから：黒田喜美子，4，290

演習で身をもって知った「自分との戦い」：村上由紀，4，291

明確になった自校と自己の課題へのチャレンジ——考えるスイッチをONに：古賀幸子，4，293

看護基礎教育への夢をもち続ける：岡村君香，4，294

【コラム】平成23年度教務主任養成講習会を終えて：清岡佳子，4，296

地域看護学と公衆衛生看護学 Part 1——看護学生が学ぶ地域看護学再考(5号)

【座談会】いま地域看護学と公衆衛生看護学を考える——看護学生が学ぶこと，保健師学生が学ぶこと：岡本玲子／岩本里織／尾ノ井美由紀／草野恵美子，5，356

看護学生が学ぶ地域看護学とは：佐伯和子，5，363

「看護師が行う地域看護活動」の視点から見た必要な教育内容：山本真由子，5，370

看護師と保健師の協働を視野に入れた看護基礎教育を——「保健師」とは何かを改めて考える：村中峯子，5，376

看護専門学校で教える地域看護学としての在宅看護論：熊野こう，5，384

統合カリキュラム教育を行う専門学校の取り組み：池西静江，5，390

地域看護学と公衆衛生看護学 Part 2——保健師学生が学ぶ 公衆衛生看護学再考(6号)

保健師学生が学ぶ公衆衛生看護学とは：佐伯和子，6，452
保健師と共に実践する行政地域看護 CNS 活動：持田恵理，6，459

大学院修士課程における保健師教育の開始：江藤真紀／草間朋子，6，466

保健師学生のための保健師教育——北里大学保健衛生専門学院保健看護科の実践例紹介：佐藤雅子，6，472

産業保健・学校保健に必要な教育内容：荒木田美香子，6，479

学校をアピールする！——学生確保のためにでき

ること(7号)

学校の魅力をアピールするためのさまざまな方策：雑賀美智子，7，544

専門学校におけるオープンキャンパスの重要性：伊藤茂理／仁科智子，7，549

課程変更に向けて，改めて教員による広報活動を考える：奈良育代／大池明枝，7，554

准看護師から看護師を目指す看護通信課程での広報活動：鈴木邦子，7，560

大学急増時代の看護系大学の広報と情報公開：濱名 篤，7，564

今高校生たちは何を考え，看護の道へ進もうとしているのか：田口正男，7，570

コンサルタントから見た看護専門学校のアピール法：北里淳，7，574

【特集1】教務主任養成講習会での学びを活かす(8号)

教務主任養成講習会受講者が得るもの——これから受講するであろう人たちに：岡崎いみ子，8，632

【座談会】教務主任養成講習会で得たものを現場で活かすには——福岡県教務主任養成講習会の成果を踏まえて：後藤 都／瀬戸山美和／長田晶子／出口由美／山崎千尋，8，636

【対談】時を経て改めて思う教務主任養成講習会の意義：栗田美幸／飛永真由美，8，644

慈恵での教務主任養成講習会開催までの道のりと今後：小路美喜子／興侶清美／蝦名總子，8，650

【特集2】看護学生論文 入選エッセイ・論文の発表(8号)

エッセイ部門

【講評】自分を見る眼，人間を見る眼：柳田邦男，8，656

シャッター：片山奈津美，8，660

母性看護実習での男の学びとは：中下勇治，8，662

おばあちゃんの手：末松由衣，8，664

痛みの体験を分かち合う：朝川聖乃，8，666

光：志氣智史，8，668

触れ合いの看護——“生きる”を支える看護を目指して：中村沙矢香，8，670

ことばの向こう側にある思い——緩和ケア診療所の実習から学んだこと：石坂安孝，8，672

二度と会わないと決めた日：伊藤 希，8，674

今，私にできること：久米恵理香，8，676

母と娘の在宅療養——看護の原点を見つめ直した日：遠藤みさ，8，678

論文部門

【講評】学生の「臨床」から見えるもの——「看護師の臨床の『知』」を創造し続けてほしい：佐藤紀子，8，680

意識障害のある患者の家族に対する信頼関係構築を目指した関わり：松本未央，8，683

思春期の患者との関係が看護に及ぼす影響——自己像の再統合へ向けた関わり：玉城香澄，8，687

服薬を嫌がる幼児前期の子どもが主体的に内服に取り組むためのプレパレーション：磯浪令佳，8，690

看護師の消極的倫理行動に影響する要因と心境との関連：橋本あかね，8，694

学問としての在宅看護論の確立へ(9号)

【鼎談】学問としての在宅看護の歴史と未来：本田彰子／栗本一美／炭谷靖子，9，752

地域の特色を生かした在宅看護学実習の紹介——訪問看護ステーション・富山型デイサービス・訪問入浴・地域包括支援センターでの展開の実際：荒木晴美，9，759

「地域社会に求められる看護師」の育成を目指した教育・研究・実践——地域看護学，在宅看護論から，エンド・オブ・ライフケア看護学に至る経験より：長江弘子，9，766

在宅看護“現場学”への招待——OJTシートによる現任教育への誘い：本田彰子，9，773

【教育現場を経て実践の場で活躍する先達からのメッセージ】——「在宅ケアの不思議な力・つながる力」に導かれて：秋山正子，9，780

【教育現場を経て実践の場で活躍する先達からのメッセージ】——「開業ナース」として教育・研究・実践のいずれにも邁進する：村松静子，9，782

コミュニケーション力を育む——実習前に教員としてできること(10号)

学生がコミュニケーション能力を育成できる環境をつくる：菱沼典子，10，838

ロールプレイングを用いたコミュニケーション教育：川野雅資／石川純子，10，844

小児看護学実習前のコミュニケーション力トレーニングと授業展開——学生の受け留める力・伝える力・チーム力の育成：山元恵子／若瀬淳子／高橋 亮，10，850

当事者の話をよくよく聞く——被災地支援と看護相談での学生の学び：山田雅子，10，856

専門看護師に聞く——領域ごとに求められるコミュニケーション力

精神看護：河野佐代子，10，860／母性看護：長坂桂子，10，863／老年看護：藤田冬子，10，865／小児看護：本多有利子，10，867

「複数受け持ち」実習をより効果的に(11号)

いち早く「複数受け持ち」実習に取り組んできた成果と課題：片倉貴子，11，924

本校の複数受け持ち実習における教員の工夫：鳥海朱美／廣崎道代，11，931

ポートフォリオを活用した統合実習——看護チームの一員としての複数受け持ち実習を目指して：杉浦暁代／新美綾子，11，936

受け持ち患者を増やしていく実習——総合実習「チームチャレンジ」の実際：佐居由美／松谷美和子／大久保暢子／伊東美奈子／中村綾子／堀 成美／大橋久美子／峰ヶ崎令子／倉岡有美子／岩崎寿賀子／田中万里子，11，944

パートナーシップ・ナーシング・システムをふまえた「複数受け持ち」実習：酒井明子，11，952

“特定能力”をもつ看護師の新たな役割とその人材

育成(12号)

特定行為と看護師の能力認証について これまでの議論の整理と現状：岩澤和子，12，1008

看護師特定能力養成が拓くさまざまな可能性：山田静子，12，1022

【グループインタビュー】看護師特定能力養成調査試行事業——学生は何をどう学んでいるか：谷田真一／下村 愛／佐藤志保／田山裕介，12，1024

育成現場からのメッセージ——藤田保健衛生大学大学院教員・学生それぞれの期待と希望と……

大学院進学動機：永谷ますみ，12，1030／将来の自分のイメージ：村上友悟，12，1031／実際に学び始めて感じること：山添世津子，12，1031／看護との違いと共通点：酒井博崇，12，1032／これから看護師になる学生へ：伏見直記，12，1032／やる気に満ち溢れまとまりのある学生たち：近藤一直，12，1033／急性期・周術期分野の教育：日高 聡，12，1033／認証看護師のみなさんに期待すること：高木 靖，12，1034／成人教育理論の実践：石原 慎，12，1035

焦点

基礎と臨床をつなぐ「病態生理学」の教え方——第142回医学書院看護学セミナーより：田中越郎，1，42

【座談会】在宅看護を教え・学ぶために——基礎教育と訪問現場の経験者からの提言：川越博美／櫻井雅代／佐々木静枝／山田雅子／棚橋さつき，6，486

資料 第101回看護師国家試験解説

第101回看護師国家試験の傾向から見えてきたこと：柴田淑子，7，580

第101回看護師国家試験問題の考察——必修問題を中心に：畑尾正彦，7，584

特別記事

看護基礎教育における実習指導のエッセンスを伝える実習指導者講習会(その1)——実習指導に望まれる指導者としての力量：富田幸江／仙田志津代，3，212

看護基礎教育における実習指導のエッセンスを伝える実習指導者講習会(その2)——実習指導案作成を通して考える指導者の力量：仙田志津代／富田幸江，4，300

保健師の人材育成と大学院での教育：波川京子，4，306

平成23年保健師助産師看護師学校養成所指定規則改正に伴う看護系大学における新カリキュラムの概要——教育課程の変更承認申請の内容から：石橋みゆき／辻 邦章／西尾和幸，5，398

看護基礎教育における「医療安全」講義・演習の実践——RCAとMITTによる実践的医療安全トレーニング：石川雅彦，6，494

北海道社会事業協会帯広看護専門学校における「医療安全」講義・演習の取り組み：松田亜由美／石川雅彦／斉藤奈緒美，6，501

教育が看護の現場を変える 臨床現場に定着しつつあるCON(Client-Oriented Nursing)——ウズベキスタンでのJICA看護教育改善プロジェクトの成果：桜井礼子／藤内美保／菊池志津子／草間朋子，7，588

臨地実習期間中に学生が経験した患者からの暴力事例——学生が最も困ることと対応方法の分析を通して：三木明子／村井文江／江守陽子，8，700

調査報告

看護師等養成所における教務主任としての能力の達成度と行動化に至った要因：高口みさき／村瀬裕子／藤村礼美，2，118

看護基礎教育における国際看護学実習の意義——学生の意識調査から：須藤恭子／樋口まち子，9，786

実践報告

死後のケア演習を取り入れた看取りの教育：小林祐子／清水理恵，5，404

看護学生による未固定のブタ腎臓の解剖学実習：高柳雅朗／野崎真奈美／井上理子／村上邦夫／川島友和／菅原恵／小林里美／町田みち子／高柳照子／菊地由美／今城直実／佐藤二美，5，409

Scramble Zone

多くの准看護師が働く地域から見た准看護教育の現状と課題——「特集：准看，進学コースでの教育はいま」を読んで：松永三千代，1，48

准看護師問題—ふれる機会が少ない背景を考える——「特集：准看，進学コースでの教育はいま」を読んで：松岡君代，1，52

日本看護学生会(JNSA)10周年記念大会レポート

看護学生ネットワークのねがいが：多田恵美子，2，125

学部学生として，ICN マルタ大会とJNSA10周年記念大会に参加して：小川将太，2，127

学校の独自性を目指したカリキュラム——災害看護にICLS研修を取り入れて：石田るり子，3，220

聴覚障害をもつ看護学生の修学経験に関する実態調査——絶対的欠格条項改正前後の比較検討：栗原房江，4，312
短歌の鑑賞から看護教育へ『短歌と人生』の執筆を通して：杉山喜代子，6，506

看護学生・医学生教育に思う——楽しく講義をするための15ヵ条：青山興司，7，594

看護(師)は何をすべきか？ 特定看護師(仮称)の是非を論じる前に：土屋八千代，8，706

看護大学における疫学教育の意義：鷲尾昌一／矢野正子，8，714

『三重の看護史 昭和から平成への軌跡』編纂・発行と「看護博物館」開設——三重県立看護大学開学15周年記念事業から：山口和世，9，792

米国での急性期ケアにおけるナースプラクティショナー(Nurse Practitioner：NP)教育と実践：朝倉由紀，10，872

終末期にある子どものボランティアでの在宅訪問を通して得た，学生の学びと成長：友田尋子／間本弘美／森口裕加／日根埜谷美里，10，876

上質な気分転換のすすめ——たとえば宮澤賢治の言葉を味わう：木村弥生，10，882

DVD『赤十字とは何か その教育の原点を問う』を制作して——3.11石巻で奮闘していた看護学生の記録：池田由

美子／南斉真奈美／林 容子／東 智子, 10, 884
地域から始める精神看護学実習：新井信之, 11, 960
がん患者として、そして看護職として思うこと——存在するだけでは生き抜けない、一人の看護教員として意味ある存在でありたい：西田厚子, 12, 1038
「今、ここ」を生きる——ビハラー病棟での看護学実習指導からスピリチュアルケアを考える：傳谷典子, 12, 1042
「実習の経験知・育ちの支援で師は育つ」を読んで、自らのエピソードを語る：松岡君代, 12, 1045

■ 沖縄から漕ぎ出す「島しょ保健看護学」の船出

3. 大学院における島しょ看護の高度実践指導者育成への挑戦：神里みどり／野口美和子, 1, 64
4. 島しょ看護研究をどう進めるか——その方法と実際：大湾明美／野口美和子, 2, 142
5. 看護職者の役割拡大と島しょ保健看護——沖縄県に必要な高度実践看護職者とその教育：前田和子／大湾明美／神里みどり, 3, 234

■ 学生の目 教員のまなざし

13. 解剖生理Tシャツ：笹井尚子／関屋スミ子, 1, 1
14. 折ってみよう、見せてみよう：保坂美津子, 2, 85
15. 看護師人生の折り返し点：鈴木邦子, 3, 163
16. この笑みがこぼれるまで：高岡哲子, 4, 255
17. 「なぜ？」に答えること：柳本 幹, 5, 351
18. 島人の思いを知る：大川嶺子, 6, 447
19. 「看護の詩」を聞きながら：藤田京子, 7, 539
20. お腹の底から「ワッハッハッ！」：奥山幸子, 8, 627
21. 実習の可能性を信じさせる目：高田貴美枝, 9, 747
22. 地に足つけたサークル活動：高味佐千子, 10, 833
23. 「書く」ための手の運動：兼田千鶴子／三島万裕子, 11, 919
24. 子どもとどうやって遊ぶの？：佐々木澄子, 12, 1003

■ 九州・沖縄からの風 学生が綴る看護への想い

1. 勉強以外にも多くの経験をしなけりゃもったいない！：高橋佳佑, 1, 62
2. 「私たちへのメッセージ」と「私たちからのメッセージ」：大嶺健一／入南風野愛里, 2, 140
3. 「学生フェスティバル」に向けコミュニケーション力をUP！：土生穂奈美, 3, 230
4. 社会人から学生にもどってわかったこと：屋宜一馬, 4, 334
5. Grow Up！「学友会」活動と臨地実習から得た学び：武藤里奈, 5, 430
6. 病院ボランティアへの挑戦：屋宜一馬, 6, 522
7. サークル・オブ・ピア活動の広がり：大津りさ／馬場彩夏, 7, 612
8. ケアリング・コンソーシアムからの学び：新里葵, 8, 730
9. 2つの気づき：松坂初美, 9, 816
10. タイ研修で驚き、学ぶ：新里 葵, 10, 902
11. 「伝えたい、わかってほしい」の願いを込めた健康教室：今村文香, 11, 986
12. 私たちのつながりは続く：大嶺健一, 12, 1066

■ PBL再考 教員として体験したマクマスター大学におけるPBL：Mernagh 豊澤英子

1. Problem-Based Learning (PBL) との出会い：1, 56
2. PBL テュートリアルの実際 その1：2, 132
3. PBL テュートリアルの実際 その2：3, 224
4. PBL テュートリアルの実際 その3：4, 328
5. PBL テュートリアルの実際 その4：5, 422
6. 今改めて看護教育を考える：6, 516

■ 「書く力」で“ステキな看護師”をつくろう 初年次から始められること

1. 【座談会】「書く力」の適切な指導で“ステキな看護師”をつくる——私たちが連載で取り組むこと：三原祥子／松岡志帆／味木由佳, 4, 320
2. 学生に教員の意図を正確に伝える——レポートにつなげるノート・テイキング：三原祥子, 5, 416
3. 学習共同体を創り協働するために共有しておきたいポイント——評価基準とパラグラフを中心に：三原祥子, 6, 510
4. その場で書く、リアクションペーパーの工夫と考察——普段の提出物で「書く力」のトレーニング：味木由佳, 7, 608
5. 持ち帰って、参考文献なしで作成する提出物へのアドバイス——深く考えて、まとめて「書く力」のトレーニング：味木由佳, 8, 724
6. 引用・参考文献を用いて作成するレポートへのアドバイス——書き方以前の問題に取り組む：三原祥子, 9, 808
7. 実習レポートを書くためのアドバイス——「書く」ことで、客観的視点と論理的思考のトレーニング：松岡志帆, 10, 896
8. レジュメおよび質疑応答の指導——相手が目の前にいることを「書く力」の指導に活かす：三原祥子, 11, 980
9. 聞き手を意識した報告の仕方：松岡志帆, 12, 1062

■ 「看護教育評価演習」におけるパフォーマンス評価への挑戦

- ・連載を始めるにあたって：石川倫子, 7, 602
- 1. 「看護教育評価演習」新設の意図を汲んでの企画：宮野公恵／加嶋多恵, 7, 602
- 2. 「看護学教育評価演習」におけるパフォーマンス評価の授業の実践：石川倫子, 8, 718
- 3. 「パフォーマンス評価」演習における学習支援：石川倫子, 9, 802
専任教員養成講習会を受講した研修生が創ったパフォーマンス評価と学び：菊山裕美, 9, 802

■ 「魅力ある学校をアピールする！」プロジェクト：諸橋由美子

1. チャーミーと見直された広報：8, 714
2. チャーミーと見つけ出された魅力：9, 798
3. チャーミーとこだわりある魅力：10, 892
4. チャーミーと入試前後のアピール：11, 975

■ 「看護」を一生ものの仕事に 基礎教育で学ば

せたい医療現場のリスクとその対策：小川 忍

1. 医療安全の基盤である、労働安全衛生アプローチ：10, 886
2. 医療機関はリスク(危険)がいっぱい：11, 970
3. 夜勤・交代制勤務のリスクを知り、対策を講じよう！：12, 1056

■「交流」を通して教育力を高める 広島県専任教員継続研修の試み

1. 県としての専任教員継続研修事業化への道のり：水馬朋子／井居美幸／佐藤真紀／高浦睦美, 11, 966
2. 専任教員の経験段階に応じた成長の指針の作成と継続研修計画の概要：水馬朋子／波多野文子／大屋八重子／楠谷京子, 12, 1048

■実習の経験知 育ちの支援で師は育つ：新納美美

5. 学ぶコミュニティ：1, 72
6. 学生の力と未来を信じて：2, 150
7. 実習道場 “心技体”の掛け軸を携えて：3, 241
8. ゆるく・楽しく・手厳しく：4, 336
9. 学ぶコミュニティの形成をめざして——グループ支援ことはじめ：5, 432
10. カンファレンスの技：6, 524
11. 問いかけの威力 “いい子仮面”がはずれるとき：7, 614
12. “泣き”に向き合う育ちの支援：8, 732
13. “お手本”との出逢いの支援——指導者・教員関係の文脈：9, 818
14. 失敗未満から学べ！——現実に向き合うカンファレンス運営：10, 904
15. 躓きを促す：11, 988
16. 専門職の心意気と姿勢を伝承する——プロセスレコードを活かした実践的カンファレンスの運営：12, 1068

■ナイチンゲール伝：茨木 保

7. ナイチンゲール式病院第1号：1, 76
8. 地獄の戦場：2, 154
9. 軍の掟：3, 246
10. 金槌を持った婦人：4, 342
11. ランプを持った淑女：5, 438
12. クリミアの悪夢：6, 530
13. リビドーとデストロイ：7, 618
14. 小陸軍省：8, 738
15. 病人人フローレンス：9, 824
16. 喪失：10, 910
17. 博愛：11, 994
18. 和解：12, 1074

■Mail from USA『JNE』を読み、世界の看護教育の流れを知る

33. 新卒看護師の就職難と求められる医療制度改革：神谷英美子, 1, 82
34. 学部、修士、博士 それぞれの長期休暇の過ごし方：原田奈穂子, 2, 160

35. 多様性を追求する目を養う Team-Based Learning (TBL)：杉本敬子, 3, 252
36. 「リアル」な看護教育のために パーチャル地域社会の利用：喜吉絃子, 4, 348
37. 伝え切れなかった “Inactive” の意味と言葉をを超えて伝えられた想い：神谷英美子, 5, 444
38. 看護資質とリーダーシップ：原田奈穂子, 6, 536
39. 看護教育改革のゆくえ：杉本敬子, 7, 624
40. 臨地実習と質向上：喜吉絃子, 8, 744
41. ホリスティックなサポートで国家試験合格を導く：神谷英美子, 9, 830
42. 臨床に生きるシミュレーション教育：原田奈穂子, 10, 916
43. 心の知能指数の高い看護師リーダーになるために：石井素子, 11, 1000
44. 看護スキルとしてのプレゼンテーション：喜吉絃子, 12, 1080

■書評

徳田安春著『JJN スペシャル 92 アセスメント力を高める！ バイタルサイン』：〔評者〕藤田京子, 1, 55

【映評】筒井真優美総監修『子どものフィジカルアセスメント(全4巻)』：〔評者〕岩澤浩江, 2, 131

小林光恵著『説明できるエンゼルケア』：〔評者〕根岸貴子, 3, 211

ハーモニー(就労継続支援 B 型事業所)編著『幻聴妄想かるた 解説冊子 + CD「市原悦子の読み札音声」 + DVD「幻聴妄想かるたが生まれた場所」付』：〔評者〕木挽秀夫, 3, 219

山内豊明著『フィジカルアセスメントガイドブック 第2版——目と耳でここまでわかる』：〔評者〕水戸優子, 4, 319

ハーモニー(就労継続支援 B 型事業所)編著『幻聴妄想かるた 解説冊子 + CD「市原悦子の読み札音声」 + DVD「幻聴妄想かるたが生まれた場所」付』：〔評者〕穴水幸子, 4, 341

澁谷智子編著『女って大変。働くことと生きることのワークライフバランス考』：〔評者〕信田さよ子, 5, 415

安永悟著『活動性を高める授業づくり 協同学習のすすめ』：〔評者〕近藤麻理, 6, 485

石川雅彦著『RCA 根本原因分析法実践マニュアル 再発防止と医療安全教育への活用 第2版』：〔評者〕稲葉一人, 6, 515

ジュリエット・コービン、アンセルム・ストラウス著、操華子、森岡崇訳『質的研究の基礎 グラウンデッド・セオリー 開発の技法と手順 第3版』：〔評者〕大久保功子, 8, 699

【映評】岸あゆみ・城山敏江・日高朋美監修『映像で理解する吸引の技術』『映像で理解する経管栄養の技術』：〔評者〕大塚克江, 9, 785

名越康文著『自分を支える心の技法 対人関係を変える9つのレッスン』：〔評者〕太田加世, 10, 881

■編集室紀行

映画で歴史にふれ未来の医療に向かう：1, 25

大阪府立大学看護学部でタブレット端末を用いた電子教科書の実証実験始まる：12, 1044

■■■■ 2013年『看護教育』8月増大号に掲載

学生たちの瑞々しい感性と新鮮な視点でのエッセイと論文をお寄せください。

2013年4月5日(金)(消印有効)